

都市計画（原案）に対する意見の概要書

1. 原案の公告・縦覧

縦覧期間	6月30日から7月14日まで
縦覧者	0名
意見書の提出	0件

2. 住民説明会

日 時	平成26年7月4日（金）
場 所	寺戸公民館
周知方法	市ホームページ、広報誌、回覧板、個別配布
参加者	46名
質疑人数	11名
質疑内容	次頁

3. 公聴会

日 時	平成26年7月25日（金）
場 所	市民会館
周知方法	市ホームページ、広報誌、住民説明会にて案内
公述申出者	なし

住民説明会質疑応答

分類	質問内容	市の考え
原案について	永田通り（新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道第0001号線）や物集女街道の整備を進めて欲しい。	ご指摘の道路（永田通りの新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道0001号線）については、狭小な道路であると認識しております。しかし、人家が連たんしているため、道路拡幅を行うには、多額の費用と相当の年月を要することから、実施計画の策定には至っておりません。なお、物集女街道につきましては、京都府が2区間で事業化され、市も協力しながら整備推進を図っております。
	今回の都市計画変更で都市計画道路にかかる建物、都市計画道路から外れる建物の数について、教えてください。	今回の都市計画変更手続きで、都市計画道路から外れる建物は約170件あります。なお、新たに都市計画道路にかかる建物は16件あります。
補償について	自宅が都市計画道路にかかる場合は、壊さなければいけないのか。	補償内容につきましては、「公共事業の施行に伴う公共補償基準要綱」に基づき算定を行い、交渉をさせていただきたいと考えております。基本的には、同種同等の建物を建てることのできる補償となりますが、その他にも、移転にともなう補償（動産移転料）や営業をしている方々への補償などがあります。なお、家にどのくらい都市計画道路がかかるかにつきましては、個別にご説明させていただきますので向日市（都市計画課）までご相談ください。
	補償の対象となるのは、都市計画道路にかかる家の部分だけなのか。	
	自宅が都市計画道路に半分かかる場合の補償について。	

分類	質問内容	市の考え
説明及び手続きについて	説明では、具体的な場所が分かりにくい。各宅地にどれくらい都市計画道路がかかるかについても説明してほしい。	今回の説明会では、都市計画変更に関する基本理念や変更内容など全体的なご説明をさせていただきました。資料に使用しました地図は、市で作成しているものを使用させていただきました。今後、写真を多く用いる等、工夫を行い、わかりやすい資料を作成いたします。なお、ご指摘の各宅地にどれくらい都市計画道路がかかるかにつきましては、個別にご説明させていただきます。
	永田通り（新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道第0001号線）や物集女街道の整備を進めて欲しい。	ご指摘の道路（永田通りの新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道0001号線）については、狭小な道路であると認識しております。しかし、人家が連たんしているため、道路拡幅を行うには、多額の費用と相当の年月
その他	今回、都市計画変更する区間である、永田通り（向日市道0001号線）は何年後に完成予定か。また、新たな路線での財源はいかがか	ご指摘の永田通り（向日市道0001号線）につきましては、今回の都市計画変更（原案）の幅員で一部区間の整備を進めております。しかし、完成の時期については、地権者の方との用地交渉や事業化する際の市の財政状況など、不確定な要素がありますので、具体的な時期については言及できません。 また、事業化する際は、都市計画事業は市民の皆様が納税されている都市計画税を用いますので、交通量等を調査し、整備効果が高いと判断される箇所及び市民目線で理解が得られる箇所から整備を進めていきたいと考えています。
	都市計画道路見直しの計画内容が、ころころ変わっているのではないかと。5年前にも「この計画で確定です」と説明を受けた。	5年前には、都市計画道路見直しの構想を発表させていただきました。その内容に従い、都市計画の変更手続きを行っている段階であり、決して方針がずれているわけではございませんのでご理解ください。
	昭和42年に都市計画決定をした道路は、本当に整備するのか。	向日市域には、都市計画道路が12路線ありますが、都市計画決定以降の社会情勢の変化に対応した都市計画道路網を構築するため、将来を見据えた「都市計画道路見直しネットワーク構想案」をまとめ、存続・追加・変更を検討する路線を公表しております。 なお、この構想案に基づき、適宜都市計画道路の見直しを行い、整備の推進を図ります。

分類	質問内容	市の考え
その他	道路整備について	イオンモール周辺の通過交通に対する安全対策として歩道の整備や信号機の設置を行なわないのか。また、イオンモールがオープンし、都市計画道路（桂馬場線）が整備されると、家の前に車が走り、子どもが危険になるのではないのか。
	永田通り（新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道第0001号線）や物集女街道の整備を進めて欲しい。	ご指摘の道路（永田通りの新田上手踏切から物集女街道までの区間）（向日市道0001号線）については、狭小な道路であると認識しております。しかし、人家が連たんしているため、道路拡幅を行うには、多額の費用と相当の年月を要することから、実施計画の策定には至っておりません。なお、物集女街道につきましては、京都府が2区間で事業化され、市も協力しながら整備推進を図っております。
	他の計画・事業について	伏見向日町線、向日町停車場塚原線の計画は、現在も残っているのか。 両路線とも、現在も都市計画道路として存続しております。なお、向日市都市計画道路見直しネットワーク構想案では、伏見向日町線は、市域を東西に横断する道路で都市計画上必要な路線であると位置付けております。 しかし、整備に当たってはＪＲの横断や既設道路との接続について技術的な課題が残されていると認識しております。 また、向日町停車場塚原線につきましては、京都市域の洛西ニュータウンを経て、ＪＲ向日町駅に向かうアクセス機能を有した路線ですが、新たに府道向日町停車場線を都市計画道路に追加することにより、御陵山崎線からＪＲ向日町駅間の代替路線が確保できるため、一部区間の廃止を考えています。 なお、京都市境から御陵山崎線までの代替路線がない区間を今後も関係機関との協議を継続する区間としています。 都市計画道路（桂馬場線）の阪急の高架部分（連続立体交差化事業区間）は、どうなっているのか。 ご質問の区間は、土地区画整理事業で道路用地として換地されておりますが、現在、連続立体交差化事業で、仮線が道路用地に設置されている状況であります。なお、連続立体交差化事業が完了次第、速やかに整備を進めていきたいと考えております。